

研究論文のインパクトファクター合計点数

定義

第一著者が病院教職員および診療科を持つ臨床系講座に所属する医師であるものの論文のインパクトファクターの合計点数

原著論文に限り、学会抄録や総説は含めません。

算式

実数

当院の値（調査期間）

R4年度 1,734.400 点（年間）

R3年度 1,505.855 点（年間）

R2年度 1,396.613 点（年間）

R1年度 1,154.522 点（年間）

項目の解説

研究の成果として、優れた論文の質と量を総合的に判断する指標です。インパクトファクターとは1論文あたりの引用回数の平均値を計算したもので、掲載された科学雑誌の影響力を表します。一般にインパクトファクターが高いほど、論文として採用されることは難しく、価値の高い雑誌と言えます。インパクトファクターでは英語論文のみが評価の対象となります。インパクトファクターは雑誌そのものに付与されるが、その雑誌に掲載された論文1本につき、その点数をカウントします。

計算方法としては、各診療科より1年間の論文のリストを入手し、それぞれのインパクトファクターを合計します。